

第6学年 国語科学習指導案

児童 6年2組 男子16名 女子18名
指導者 日向 啓子

1 単元名 この絵はすばらしい！ 名画のよさを解説しよう

2 学習材名

中心学習材 『鳥獣戯画』を読む (光村図書6年)

「この絵、わたしはこう見る」 (光村図書6年)

補助学習材 「おはなし名画シリーズ」「新おはなし名画シリーズ」(博雅堂出版)

「教科書に出てくる日本の画家」(汐文社)

「はじめてであう絵画の本」(あすなる書房) 他

3 単元を貫く言語活動とその特徴

解説の文章から、絵のよさを伝えるためのものの見方や表現の工夫を読み取り、自分の考えを明確にして解説すること

本単元を貫く言語活動として「解説の文章から、絵のよさを伝えるための筆者の工夫を読み取り、自分の考えを明確にして解説すること」を位置付けた。筆者のものの見方とその対象が書かれている解説文の特徴を生かし、作品のよさを伝えるためのものの見方や表現の工夫を読み取り、絵画を解説する。そこで、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」(C 読むことウ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでの学習で、説明的な文章において段落相互の関係や構成、キーワードに着目して要旨をとらえることや、具体例や資料の活用といった表現の工夫から内容を読み取ることができるようになってきた。また、説明的文章を読み、それに対する自分の考えを書くことへの意欲も向上している。しかし、その力には個人差があり、叙述に即して読み取ることや筆者の考えを正確に理解することを苦手としている児童もいる。

そこで、この学習では、筆者が伝えたいことをいかにして表現しているかという「書かれ方」を学習することで、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読む力を付けさせたい。また、表現の工夫を生かして絵の解説文を書くことを通して、事実と感想、意見を区別して自分の考えを伝える力を付けさせたい。

(2) 指導について

中心学習材『鳥獣戯画』を読むは、「鳥獣戯画」の絵の解説と解釈、評価が述べられた説明的文章である。筆者のものの見方とその対象が明確に表されているため、筆者の見方をとらえやすく、自分の見方と比較することができる学習材である。また、書き出しや文末の表現の仕方、一枚の絵を切り離して提示する仕方など、筆者の工夫を学ぶのに適している。

「この絵、わたしはこう見る」は、記述例や着眼点・表現の例などが示されているので、絵画の成立背景や芸術理念を心得ていない児童でも、自分なりの感じ方で何かを感じ、想像の世界を膨らませながら解説文を書くことができる学習材である。

補助学習材は、絵画の解説の本である。解説文の特徴を押さえることができると同時に、いろいろな絵画にふれることができる学習材である。

単元を通して、次の三つを大切にしていきたい。

一つ目は、「単元のめあてを知り、学習の見通しをもつこと」である。絵画に興味をもたせるために筆者の作品や絵巻物を紹介することで、筆者の考えに共感させながら意欲的に読み進められるようにしたい。また、解説の文章の特徴をとらえることで、解説するための要素を読み取っていくという見通しをもたせたい。

二つ目は、「筆者のものの見方について自分の考えを明確にすること」である。そこで、事実と

感想、意見を区別しながら文章構成、要旨、表現の工夫を読み取ることで、筆者の主張がどこに書かれているかを理解できると考える。また、絵を見てはじめに感じたことと、中心学習材を読み取った後に感じたことを比較することで、自分の考えの深まりを実感させたい。

三つ目は、「友達の考えを知ることによって自分のものの見方を広げること」である。これは、児童の実態から力を引き上げる必要がある学習内容である。同じ絵画を選んだ児童同士で交流することで、いろいろな受け止め方があることを知り、ものの見方が広がるとともに交流のよさも感じさせたい。

本時は、解説の文章から解説するのに必要な要素や特徴をとらえることで、解説文を読んだり解説したりすることに意欲をもたせたい。

5 単元の指導目標

- 解説の文章を読んだり、解説したりすることに興味をもち、自分の考えを進んで伝えようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎目的に応じて、事実と感想・意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかよむことができる。
(読むことウ)
- 文章を読んで考えたことを交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むことオ)
- 事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。
(書くことウ)
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ))

6 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語文化についての 知識・理解・技能
おおむね満足できる状況	解説の文章を読んだり、解説したりすることに興味をもち、自分の考えを進んで伝えようとしている。	◎解説の文章に対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読んでいる。 ○解説の文章を読んで考えたことを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしている。	絵から感じたことを伝えるために、事実と感想、意見などを区別して、解説の文章を書いている。	文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。

7 単元の学習計画及び評価計画（読むこと 9時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
見通す	1 本時	1 学習内容をつかみ、学習計画を立てる。 ○解説文の特徴を知ること ○学習の見通しをもつこと	○解説文の要素や特徴を考えさせる。 ○高畑氏の作品を紹介し、「絵を解説すること」に関心をもたせる。	関「絵」や「絵を解説すること」に関心をもち、学習

		この絵はすばらしい！ 名画のよさを解説しよう。		の見通しをもって いる。(発言・シ ート)
		○学習計画を立てること	○絵画や解説文にふれるため、並 行読書の本を紹介する。	
深 め る	2	2 『鳥獣戯画』を読む」を読み、 感想をもつ。 ○全文を読み、感想を交流する こと	○鳥獣戯画の一場面を見て、自分 なりに解説させる。 ○全文を読み、高畑氏の解説につ いての感想をもたせる。	読—考えを効果的 に伝えるための 表現や構成の工 夫について考え ている。(発言・ シート)
	3	3 要旨をとらえる。 ○筆者の考えを伝えるための工 夫について読み取り要旨をと らえること	○文章構成や小見出しを考えさ せ、要旨をとらえさせる。 ○書きだし、文末表現、実況中継 のような表現などに着目させ る。	
	4	4 筆者の着眼点、評価、表現の 工夫についてとらえる。 ○絵と文章を照らし合わせなが ら読み、筆者のものの見方を とらえること	○絵のどの部分を取り上げ、どう 評価しているかに着目させる。	
	5	5 筆者の解説文のよさをとら え、まとめる。 ○鳥獣戯画のすばらしさや見ど ころ、自分の解説と比べて、 筆者の解説文のよさをとらえ ること	○筆者の解説文のよさをまとめ、 交流することで、ものの見方や 考え方の広がりや深まりをもた せることと、自分で解説文を書 く際の視点となることを確認す る。	言—筆者の考えと 自分の考え、事 実と自分の考え を意識して書き 分けている。(ワ ークシート)
広 げ る	6	6 「この絵、わたしはこう見る」 を読み、解説文を書くことにつ いて確かめる。 ○選んだ理由や作品のよさ、作 者についてまとめること	○解説文を書いて掲示するという 目的を確認する。 ○自分の選んだ絵画について選ん だ理由や作者についてまとめさ せる。	書—目的に合った 絵を選び、自分 なりの見方を整 理している。 (シート)
	7	7 自分が選んだ絵の細部につい て、着眼点、評価を整理するこ と ○表現を工夫しながら、解説文	○名画のよさについて、着眼点、 評価をワークシートにまとめさ せる。 ○中心学習材や教科書 P144, 145	

		の下書きをすること	の解説の記述例を参考に、書き出しや表現を工夫させる。	
8	8	絵から読み取ったこと、感じたことを解説文に表す。 ○表現の効果を考えながら、解説文を書くこと	○構成や文章表現を工夫しながら、400字程度にまとめさせる。	書—表現や構成を工夫しながら解説文を書いている。(解説文)
9	9	完成した解説文を読み合い、感想を交流する。 ○絵の見方や表現のよさを伝え合うこと ○学習の振り返りをする	○絵のどこに着目し、どんな表現の工夫をしたのかを交流させ、着眼点や表現の工夫の違いに気付かせる。 ○この単元の学習で、どんな力が付いたのか、振り返りをさせる。	関—絵から読み取ったことを進んで伝え合おうとしている。(交流・振り返り) 言—語句と語句との関係を理解している。(振り返り)

8 本時の学習 (1/9)

(1) 目標 解説文の特徴をとらえ、絵を解説することへの意欲と見通しをもつことができる。

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容 (◎主発問)	指導と評価のための工夫
導入	1 絵を見て感想を発表する。	○数枚の絵を見て、感じたことを発表すること ○気に入った絵について、理由を話すこと	・児童が知っていると思われる名画を見せることで、絵に興味をもたせる。 ・なぜ有名なのかも考えさせる。
5	2 本時の学習課題を確認する。		
			解説の文章の特徴をとらえ、絵のよさを伝えるための学習の計画を立てよう。
展	3 解説文の特徴を見つける。	◎解説の文章を比べ、共通点を見つけましょう。 ○文章を読み比べ、自分の考えをもつこと ・絵や写真がある ・説明をしている ・よさについて詳しく書いている ○解説文の特徴について全体で話し合い、自分の考えを深めること	・ジャンルの違う解説文を取り上げ、筆者が読み手に伝えたいことは何か、それをどのように表しているのか考えさせる。 〈評価規準〉 解説文を読み比べ、解説文の特徴をとらえている。 (ノート、発言) ・解説の文章を読んだり書い

<p>開</p> <p>35</p>	<p>4 高畑勲氏の経歴や「鳥獣人物戯画」の絵巻物について知る。</p> <p>5 単元のゴールを確かめ、学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事実が書かれている ・評価が書かれている ・意見や感想が書かれている ・絵と文が対応している <p>○高畑氏の監督作品や平安の絵巻物について知ること</p> <p>○「この絵はすばらしい!名画のよさを解説しよう」という学習の見通しをもつこと</p> <p>○高畑氏の解説文から、作品のよさを伝えるためにどんなところに目を付け、どんな評価をして、どんな工夫をして伝えているのかを学び、それを生かして他の絵画を解説する学習であることを確認すること</p>	<p>たりする視点になるので、児童の言葉をまとめ、一般化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えや全体でまとめたものは赤ペンで書き加えさせる。 ・絵や絵を解説することに関心をもたせる。 ・並行読書の本を紹介し、目的意識をもって学習を進められるようにする。
<p>終末</p> <p>5</p>	<p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>7 次時の学習を確認する。</p>	<p>○身についた力と本時の感想を書くこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観点に沿って振り返ることで、身に付けた力を実感させる。

(3) 板書計画

<p>三 振り返る。</p>	<p>学習計画</p>	<p>この絵はすばらしい!名画のよさを解説しよう</p>	<p>二 学習計画を立てる。</p> <p>特徴</p>	<p>解説の文章</p> <p>解説の文章</p> <p>解説の文章</p>	<p>一 解説の文章の特徴を見つける。</p> <p>解説の文章の特徴をとらえ、絵のよさを伝えるための学習計画を立てよう。</p>	<p>絵</p> <p>絵</p> <p>絵</p>
--------------------	-------------	------------------------------	----------------------------------	--	---	----------------------------